

# かほく ワークシート

## 声の交差点

### ■新聞配達心のよりどころ

大橋登志子 64歳

(仙台市太白区・新聞配達員)

いま、新聞販売店は配達員不足で困っているのではないだろうか。

私は朝刊と夕刊を配達して、28年目に入りました。

人は体に体内時計を持っていると言われます。夜明けとともに起きて、日が沈むと眠るという生活リズムは体のためにも良いと思います。

生まれたての朝の空気を吸い、天気が悪くても悪くても不足に思わず、それぞ

れの季節を肌で感じ、楽しむ心のゆとりを持つことができます。

まだ多くの人が眠っている間にひと仕事終えたという少しの優越感が得られます。また、午前中の時間帯が長く感じられ、うれしくなります。

仕事は楽ではありませんが、心の持ち方ひとつで良いこと、楽しいことに感じられ、私にとって心のよりどころとなっています。

現代社会では夜型の人が多いいと思いますが、朝型生活もいいですよ。

(2015年6月30日河北新報朝刊)

①投稿者の大橋さんは、新聞配達をすることで、どんな良いことがあると言っていますか。できるだけたくさん挙げましょう。

②あなたの生活習慣の中で「いいなあ」と思っていることを書きましょう。

③ペアを組んで、隣の人と①、②について、あなたの考えを紹介し合ひましょう。

年 組 名前

(小学校高学年～中学生／朝の会前10～15分)